

調査の概要

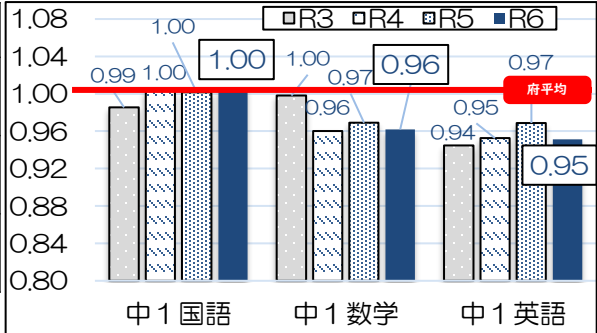
- 調査実施日
- 令和7年1月9日（木）
- 調査の目的
- ◇大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
◇市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
◇学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
◇生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 調査内容
- ◆学力に関する調査　１年生（国語・数学・英語）　　２年生（国語・社会・数学・理科・英語）
※２年生の社会・理科は各校の指導計画に応じて「Ａ問題」と「Ｂ問題」から選択します。本市において、今年度は、社会では４校がＡ問題、１校がＢ問題を選択、理科ではＡ問題を１校、Ｂ問題を４校が選択しました。
◆学習状況に関する調査（生徒アンケート）全11問
- 調査参加者
- １年生　（府全体　56,486人　うち、本市参加者　564人）　　２年生（府全体　56,153人　うち、本市参加者　547人）
※教科や出題範囲が限られていることから、中学生チャレンジテストにより測定できるのは学力の特定の一部分です。

１年生

教科別平均点・対府平均比経年比較

	国語	数学	英語
本市平均点	58.8	47.9	58.5
大阪府平均点	58.5	49.8	61.5
対府平均比	1.00	0.96	0.95

対府平均比とは、大阪府平均を1としたときの本市平均の値です。

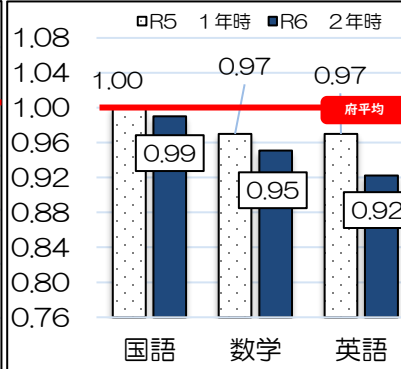
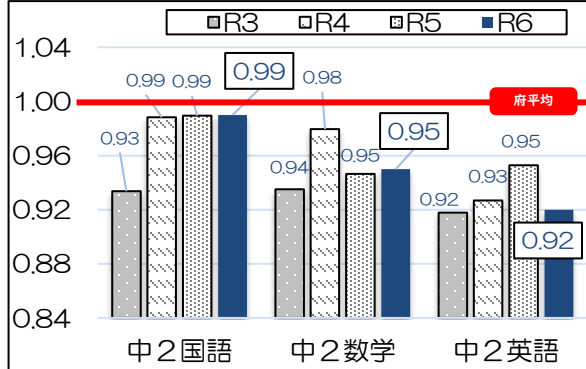


２年生

教科別平均点・対府平均比経年比較及び同一集団での対府平均比経年比較

	国語	数学	英語	社会	理科
本市平均点	65.0	48.2	49.8	49.4	43.4
大阪府平均点	65.5	50.7	54.0	49.5	46.7
対府平均比	0.99	0.95	0.92	0.99	0.92

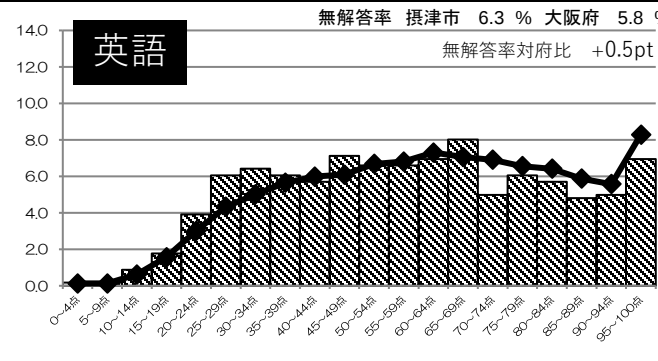
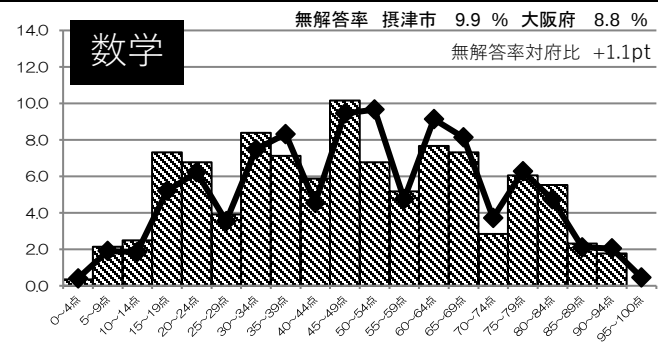
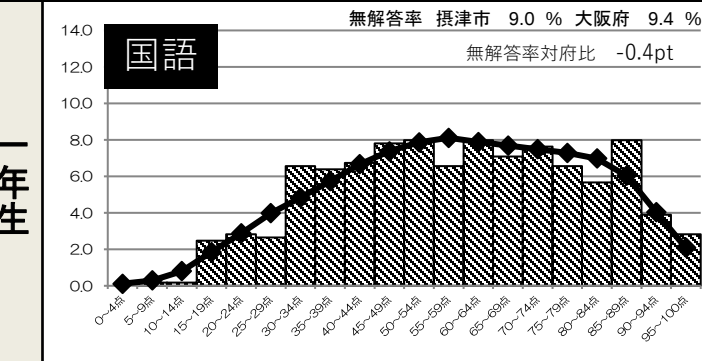
理科はA問題を1校、B問題を4校が選択したため、全体の総数から平均点を算出しております。



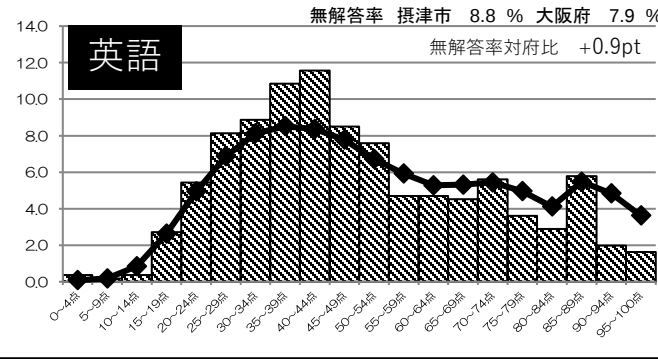
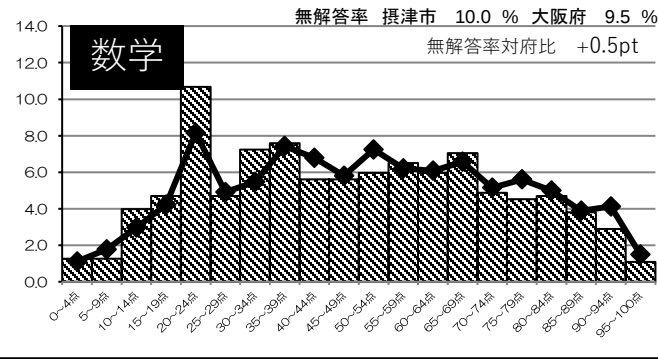
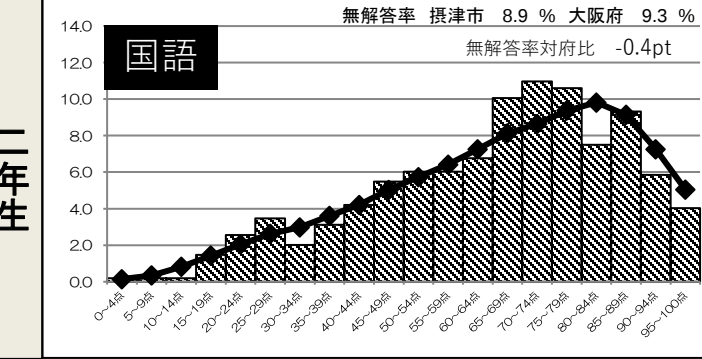
教科別得点分布・無解答率

摂津市 大阪府

一年生



二年生



今後に向けて

- 教育委員会では、各校の取組への指導や助言を行い、成果を上げている学年・教科の好事例について市内全校で共有できるよう、以下のように支援していきます。
- 市全体の児童生徒の学力状況について分析し、各小中学校へ課題の周知を行うとともに、各校の「学力向上プラン」の進捗状況を確認し、指導・助言と支援を行います。
 - 児童生徒と学習計画や授業の目的・目標を共有し主体性を育む授業づくりや、基礎的・基本的な学習の定着に向けた取組を、市内全体で推進していきます。
 - 一人一台のＩＣＴ端末の効果的な活用方法について、各学校の好事例を共有するとともに、より効果的な活用についての指導・助言を行います。
 - 学校の学びと社会をつなげる「キャリア教育」を充実させ、生徒の「自分らしい生き方を実現するためにもっと学びたい」という学習意欲を高める取組を推進していきます。

調査結果について

【教科別平均点・対府平均比経年比較】

１年生の国語において、府平均をやや上回った結果となりました。小学校段階から、授業でつける力を明確にし、言語活動に重点的に取り組むなど、授業改善が進んだ結果であると考えております。数学・英語については、府平均を下回り、昨年度よりも低い結果となりました。

２年生では、国語において、昨年度同様、府平均にわずかに届かず、数学も昨年度とほぼ同じ結果となりました。英語では、府平均を0.08pt下回り、昨年度よりも低い結果となりました。

２年生同一集団を経年で比較すると、国語は、ほぼ横ばい、数学は0.02、英語0.05pt低下する結果となりました。

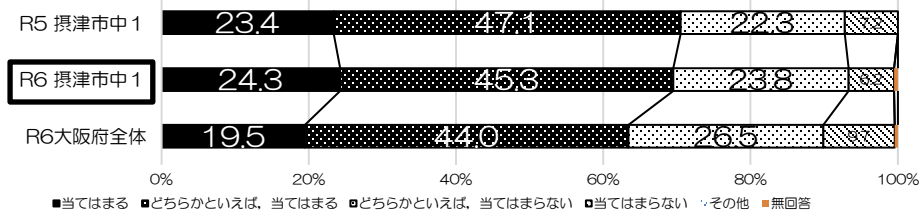
【教科別得点分布・無解答率】

得点分布において、１年生・２年生ともに、英語では、高得点層が少なく、数学では、低得点層が多い傾向にあります。

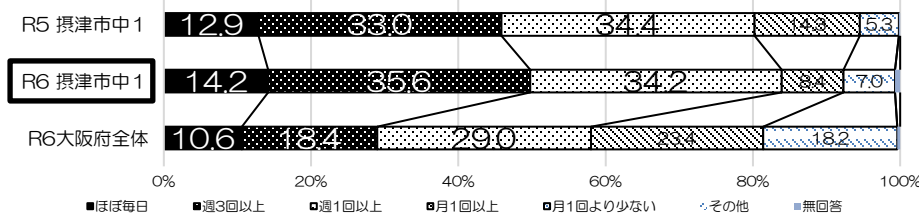
無解答率対府比については、１年生・２年生ともに国語において府平均より低い結果となりました。一方、数学・英語では、府平均より高い結果となりました。特に１年数学では、府平均よりも1pt以上高く、課題が残る結果となりました。

中 1

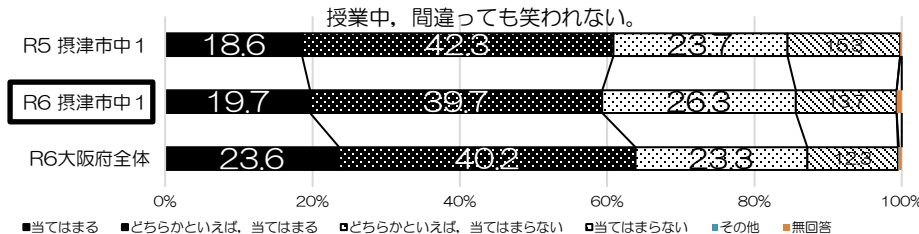
①授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある



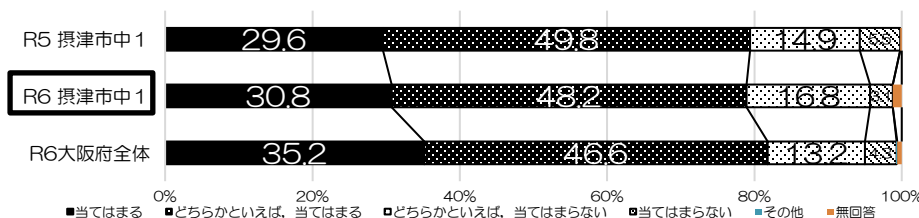
②授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか



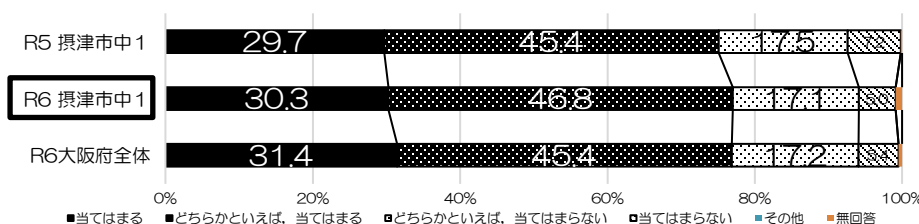
③家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している



④あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある

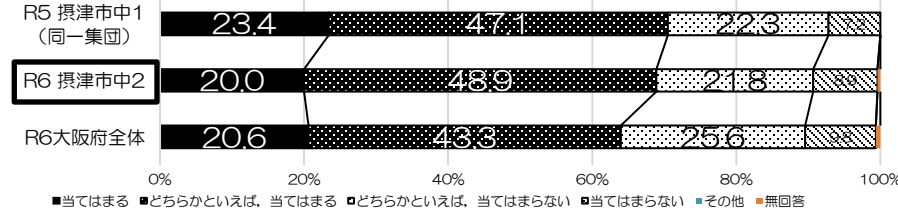


⑤難しいことがあっても、あきらめない

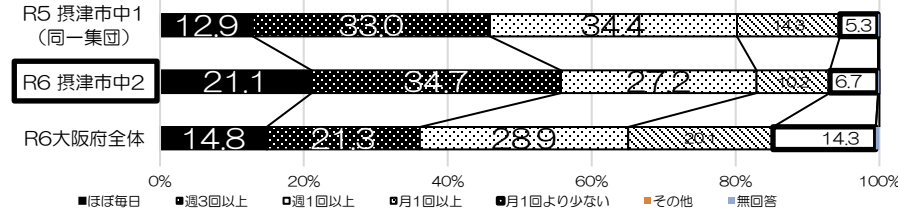


中 2

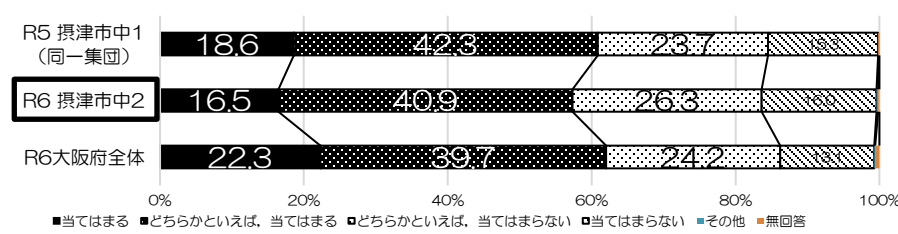
①授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある



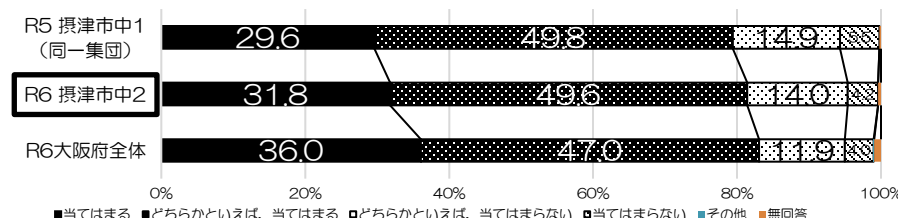
②授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか



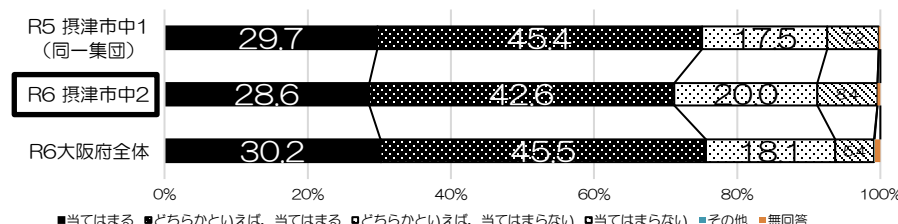
③家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している



④あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある



⑤難しいことがあっても、あきらめない



生徒アンケートについて

【思考の整理・まとめる力の育成とICTを活用した意見交換】

1・2年生ともに、「質問項目①②」に対する肯定的な回答の割合（※）が府の平均を上回りました。各中学校では、生徒が主体的に学べるよう、考える時間を確保し、友達との意見交換を通じて自分の考えを深める活動を取り入れるなど、授業の工夫を進めています。

特に、2年生の「質問項目②」では、1年生のときと比べて、「ほぼ毎日」と回答している割合が8.2ポイント向上しており、学年が上がるにつれて協働学習の機会が増えていることが分かります。

様々な授業で、情報を整理してまとめる力、自分の考えを的確に伝える力が身につけてきています。これは、摂津市がこれまで力を入れてきたICT機器を活用した授業改善の成果だと考えています。

【主体的な家庭学習】

質問項目③では、1・2年生ともに府平均と比較して、肯定的な回答の割合が下回る結果となりました。

特に2年生では、同じ学年の昨年度の結果と比べても低下していることから、授業やさまざまな教育活動の目的、目標を共有する等、学習に対する主体性を育む工夫を行う必要があると考えております。

【学級等の集団づくり・キャリア教育】

質問項目④において、府平均と比較して、1・2年生ともに肯定的な回答の割合が下回っておりますが、2年生では、同一集団と比較すると向上しております。この項目については、いじめや暴力行為、不登校などの生徒指導の諸課題につながる可能性のあるものとして考えております。その改善に向け、成長や発達を促したり、支えたりする働きかけを行い、児童生徒一人一人の個性や可能性を伸ばし、社会的な資質や能力の発達を支えております。



↑ 魅力ある学校づくり

質問項目⑤において、府平均と比較して、1・2年生ともに肯定的な回答の割合が下回っておりますが、1年生では昨年度よりも向上しました。小学校段階から地域企業等と連携し、キャリア教育に取り組む等、非認知能力を育んできた成果であると考えております。

《家庭へのお願い》

- 学校での授業の様子や宿題・課題の内容について、時には一緒に問題を解いたり、意見を交わす等、子どもたちとたくさん話す機会を作っていただきますようお願いいたします。
- スマートフォンやゲーム機等の節度ある適切な使用について、家庭でよく話し合い、ルールを決めるなどの対応をお願いいたします。
- 家庭学習の定着・積み重ね・習慣化が、子どもたちの力となり、中学3年時の進路選択や、その後の未来を生き抜く力に大きく関わります。家庭学習ができる環境を整え、子どもたちを見守り応援していただきますようお願いいたします。

※肯定的な回答の割合とは、選択肢のうちの「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した割合の合計を表します。